

上場企業役員OBと中小・ベンチャー企業を結ぶ『顧問名鑑』 活動拠点を東京・大阪から拡大し、広島でも本格展開を開始！ 登録顧問数は2000名を突破！



国内最大手のスカウト企業 レイス株式会社（東京都千代田区、社長：藤 修、以下レイス）は、東証一部、二部上場企業をはじめとする企業の役員、部長OBを中心・ベンチャー企業などに「経営顧問」として紹介するサービス『顧問名鑑』（<http://komonmeikan.jp>）において、登録顧問数2000名を超えたことをご報告致します。

働くシニアが『顧問』という新たなステージで中小・ベンチャーの業績拡大を支援する。

2012年には65歳まで働いた1947年～49年生まれの“団塊世代”的引退がピークを迎える。厚生労働省の調べによると、現在企業で働く60歳以上の従業員数は200万人を超えており、法改正による再雇用や定年延長で先延ばしにされていた大量退職が到来している。また上場企業の役員OBは毎年5,000人単位で定年退職を迎えている。一方、2008年のリーマンショック以降、企業を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。帝国データバンクによると、2011年度上半期の倒産件数は5800件を超えており、各企業とも、抜本的な経営改革の必要性に迫られている。

レイスでは、そういう個人と企業のニーズを受け、大手上場企業で培われた深遠な経営ノウハウや豊富な人脈を彼らの定年とともに眠らせるのではなく、中小・ベンチャー企業の経営に活用させ、経営再生や事業拡大や組織育成等を支援するプロジェクト『顧問名鑑』を2009年2月より開始。サービス開始直後は登録顧問数約50名だったが、2011年9月時点で登録顧問数が2000名を超えた。

地方でニーズ高まる団塊世代。東京、関西、東海に続き広島で本格展開。

「本当に経営に困っているのは中小・ベンチャー企業。大手上場企業の役員・部長といった高い専門性や技術を有し、日本の高度経済成長期を担ってきた功労者の方々とは、中小・ベンチャー企業の経営者はなかなか接点を持ちづらいのが実情。東京や関西だけではなく地方からも顧問の経験や人脈をお借りしたいといった声が増えてきた。」（顧問名鑑事業部責任者 堤 寛夫氏）

サービス開始から2年半で東京事業所の専任者を4名から48名に増員し、大阪事業所も5名から15名に増員。中国地方・四国地方の企業からの相次ぐ要請に応える為、レイスは2011年10月より広島で本格展開することを決めた。広島事業所に初の専任者を3名配置する。今後は、広島事業所を足がかりとして、中国地方・四国地方への展開を急ぐ。また、2012年度中に、顧問候補者数も5,000名を超える見込みで、2012年度中に福岡、仙台への拠点展開も計画しており、九州地方、東北地方へも支援対象を拡大し、日本全国での展開を目指す。

レイス株式会社

【代表者】代表取締役 藤 修 【本社所在地】東京都港区赤坂4-2-6 住友不動産新赤坂ビル1F
【会社設立】1997年10月 【資本金】2億3,322万円 【2010年9月期売上】25億0,622万円（グループ連結）
【社員数】302名（グループ連結）【URL】<http://www.race2005.jp>

詳細の問い合わせはコチラ

レイス株式会社 広報担当 E-mail：race-koho@race2005.jp 電話番号：03-5549-6460（代表）